

## 令和7年度第1回出島処分場事業連絡調整協議会の概要

### 1 日時及び会場

- 令和7年5月20日（火）14:15～
- 広島港湾振興事務所大会議室（広島市南区宇品海岸二丁目 23-53）

### 2 出席者

- 16名出席（2名欠席）

### 3 議事要旨

#### （1）議事

- 前回協議会の概要について
- モニター監視について
- 廃棄物の受入実績等について
- 埋立計画（令和7年度時点（案））について
- 処分場の維持管理状況等について
- 地域振興策の状況について

#### （2）回答要旨

##### 【令和6年度第5回協議会の議事概要の確認】

（意見なし）

##### 【モニター監視について】

（意見なし）

##### 【廃棄物の受入実績等について】

##### 【埋立計画の進捗状況について】

- ・ 10年間で埋立てを終えようとした場合、今年度目標と比べても3万m<sup>3</sup>不足しており、受入量を追加で確保する必要がありますが、不足分が年々累積することを考慮すれば、10年間で埋立終了は難しいのではないのでしょうか。  
→ ご指摘のとおりですが、バイオマス発電や新たな事業による廃棄物の受入れに向けた排出者への働きかけを行い、早期に埋立てを終えられるよう取り組んでまいります。
- ・ 広島県で災害が発生した場合、災害廃棄物を出島処分場で受入れることが可能ですが、他県からの災害廃棄物は受入れるのでしょうか。  
他県との協力関係の構築が重要であるが、出島処分場は十分な残余量があることから、他県からの災害廃棄物の受入れを前向きに検討すべきではないのでしょうか。  
→ 出島処分場の残余量には余裕があり、県内で災害が発生した場合には災害廃棄物の受け皿となり得ると考えています。  
なお、災害廃棄物の対応については、ブロック単位で他県との協力を行う

こととなっており、中国地方で災害が発生した場合において、出島処分場が活用できるということになれば、積極的に受入れを検討してまいります。

**【処分場の維持管理状況等について】**

- ・ PFAS が話題になっていますが、有害物質関係の項目のうち、ふっ素の値は他の海域と比較して問題はないのでしょうか。  
→ 処分場においては PFOS、PFOA の基準がないため、当該項目について測定は実施しておりません。

また、全国的に PFOS、PFOA が海域で検出された例はほとんどなく、海域での汚染が問題となった事例はございません。

**【地域振興策について】**

(意見なし)

※ 担当事務局

広島県環境県民局産業廃棄物対策課

TEL : 082-513-2964 (ダイヤルイン)